



No.617 **丁勢** 特集号 2013.平成25年

3p 総務課

- ・ 地域のつながりを防災へ ~災害に強い地域づくり~
- ・ 社会情勢に対応できる組織づくり

4-5p 企画財政課

- 買い物、通院等の移動手段を確保します
- ・ 住民主体 地域の力を活かしたまちづくりを
- 町有財産を活用した民間企業への貸出しについて
- デジタル技術を活用した住民・来町者向けサービスの展開

6-9p 產業観光課

- ・ 国際的観光地「御宿」へ~400年前から続く絆の歴史~
- 強い絆で結ばれたテカマチャルコ市との姉妹都市協定締結
- ・ 農業者の生産意欲向上に向けて
- ・ つくり、育てる漁業の推進

10-11p 建設環境課

• 安全で暮らしやすい生活環境基盤の維持・向上

12p 保健福祉課

• 町民が健康で自立した生活を送れるように

13-15p 教育課

- 気軽に立ち寄れる空間づくり (公民館)
- 楽しみながら運動習慣を身につけましょう (B&G海洋センター)
- 「まちづくりはひとづくり」 ~未来を担う「人づくり」を教育に~ (学校教育)

16-17p 御宿町10大ニュース

18-33p 資料編

• 各種統計資料が確認できます

地 域 0 つながりを防 災害に強い 地域づくり~

を避 ル以 多くの住民が参加しまし は総合防災訓練を実施し、 除外しました。7月には しを行いました。また、津 内及び、 ハザードマップを修正 今年は、 波 0) 全戸に配布しました。 難 避 下の場所にある施設 日本大震災を教訓に、 難訓練、 画の修正で、 域防災計 標 高 10 避難場所から 画の見直 9月に メート 浸水区 一本とな

全

玉 的

に

局 地

交通

▲心肺蘇生講習の様子(岩和田区)

品を 性が著しく高まっている超え、重大な災害の危険 練・防災講習をサポ 練 大限の警戒を呼びかける場合に、住民に対する最 報 ました。 組 てきました。今後も防災 していきます。 しました。町では災害に 特別警報」を新たに設定 織が独自に行う防災訓 を行い、各区自主防 報の発信や各種防災訓 の発表基準をはるかに 大 購入するなど実施 雨 防災資機材や備蓄 風 による河 巻などが 来による土 では、 の氾] 災 L 砂

|消防

消防団 消 難 で 防 防消 す。 は 寸 寸 防 常に重要とな 地元の消防団 [員の確保が大変困 者 防 大規模災害発生 0) 就業・ 災の要である 流 出により、 就学に って 員 0

> 体・財産を災害から守る ため、日ごろの訓練や夜 警活動を定期的に行って います。こうした取り組 に防がれています。消防 での役割、必要性をご理 団の役割、必要性をご理 (団にご協力ください。 民 0 か生 命



▲夷隅支部消防操法大会の様子

主催で、 がイ 場にスケアー 活 進 通 隊と協力し、 安全協会、 1, 交通 卜 動 なく高齢者も見学し、 実施され、中学生だけ 動を実施しました。5啄と協力し、街頭啓発安全協会、交通安全推 で、 (交通事故仮想体験) いすみ 県、 安全運 御宿中学校を会 県警察本部の 警察 ド・ストレ 動 0 署 実 や交に 施

> 通安全に努めましょう。 交通安全を学びました。 交通ルールを守 外出をこころがけ、 0) 灯火と明るい服装で Ď, 交 早

> > 社会情勢に対応

できる組織づくり

のめ

しますので、十分にご注末年始に犯罪が多く発生呼びかけました。特に年喚起を防災行政無線等で や止み 活 生 口隊 まちづくり) や振り込め詐欺への注意止しています。悪徳商法みが凶悪犯罪を未然に防 による地域の防犯 動 1 SST(安全で安心な など、地域の取りの登下校時の見守 ・ルの実 施 パトロー 児童・ 守り パト 組 ル

1,

職員

の能力・

実績の適正評価 の資質向上とそ

員の人事評価 修への職員派遣、

研

修等を行

管理職

▲SSTパトロール隊の皆さん(御宿台)

門知識を習得 大綱をはじ づき、 供 のない住 展 を目 する を中、]部研修 め 民サービスの 方 分権 する外部 各 種計 町 行 政改 でも や 革 画 専 に 革 研

組み、より良い住民サ見直しの検討などに取り の運用 ビ 運用に努めてきました。 運営を進めています。 制度の導入、 また、 スの提供ができる行 より良い住民サー や任期付職員任 再任用職員制 組織機構 'n 0 用度

厳しさを増す社会情勢の の高い住 できる行政運営を行い、 各種課題に迅速に *\(\delta\)* ·効率的 刻々と変化 で効果的な ビスを L

買

(J

物 移動手段を確保します。通院等の

地 域公共交通

や路 民の移動手段の確保」は、 などの影響を受け、 一方で、 線バスの廃線 社 課題となってい 会の進展や過疎化 地方における「住 が続く 鉄道

人を対象にしたアンケー 15歳以上の住民2,000 要があります。 持続可能な運行を ことから、 4 2 人 (37 · 1%) そのようなことから、 町の を七月に実施し、 規模に合った 住民の意見を 図る必 か

ら回答を得ました。

▲鉄道や民間バスとの接続点 となるJR御宿駅前

きました。 通 のニーズに合った公共交 会議を立ち上げ、 地基 一づき、 について協議を重 域公共交通活性化 のアンケート結 町では、 御 御 ねて 検討 果に 宿 宿 町 町

公共交通事業として「デ 踏まえたなかで、の運行状況や先進 画 0 マンド型の乗合運行」に の規模にあった効率的 いて協議され、運行計 運行状況や先進事 (案)が示されました。 御 例を 宿 な

0)

地 御

域

課題を抱えている

宿町にお

1

ても

同

その結果、

近隣自

葉運輸支局や交通事業者、 乗合運行」に係る地域の ※デマンド型の乗合運行:住民 事業化を図っていきます。 合意形成を図るため、千 今後は、「デマンド型の 議会での協議に移り、 表等で構成される法定 言需要に応じて柔軟に運行す 道路管理者、住民 電話予約など利

ます。

度

額

1 0

万円)

これまで年間2事

まちづくりを支援してい

の皆さんの地域づくり、

めに補助制度を設け、 づくり活動を推進するた

町

事業補助金の交付

町

では、

魅力ある地

域

魅力ある地域づくり推

進

アー」を7月、

11

月に開

「御宿町定住化促進ツ

を検討 策として、 題です。

している方を対象

御宿町に移

企 画

住民主体

地域の力を活かしたまちづくりを

あ 化 が進むなか、 \Box 少子

における地域住民のちかいくために、様々な分野やすいまち」をつくって を行っています。 推進しており、皆さんの 協働によるまちづくりを の皆さんが一体となった、 また、町では行政と住民 ら "地域力』を支援する事業 が必要となっています。 ふれるまち」、「暮らし

ボランティアポイント

町では、ボランティアグループが多く存在します。しているボランティアグ 町商店振興会「らくだカー くりを支援し、更なる活 ープの主体的なまちづ 育 現 様々な分野で活動 ポイントを付与して 在 を目的として、 0 内には産業 福祉の充実 御

を

の対象としていま

つたが、 補助 限

今年度から、よ

方に補助制度を

間

4事業

(限度額50万円)

用してもらうため、

対象とすることとし

が行われています。団体あり、定期的います。現在、申 定期的 申 請 な活 は 動 10

により実施されました。

【定住化施

宿

町

は、

少子化の進



▲さくらワーキンググル· の活動。

定住化促進策は喫緊の課

町では

定住促

進 住

減少している状況があり、

や転出等により人口が

等の感想を頂きました。 力的な町だと感じた』、『漁 催 んの人の良さが分かった』 の棲みかとして十分魅 参加者からは『 しました。 農家など地域の皆さ 将 来



▲ 1 1 月に行った定住化促 進ツアー

り」、岩和田区「みなと祭 がこの補助金の活 御宿台区 「秋祭

度は

町有財産を活用した 民間企業への貸出しについ 7

(財産管理

国際高等学校に貸出 部を10月から私立 若 潮高校旧 葉県より購 御 入し 宿 校 中舎の た勝 し ま

なった地域振興や活性化等も含めた官民一体と 験学習が行われる予定で 色のある集中学習及び体里山、里海を活かした特 も期待されています。 る事となり、 の校舎に通学し、 首都圏から全生徒 に 6 月、 が見込まれています。主 が開始され、 から本格 1,0 本学校では、 生徒は町内に宿泊す 00人以上の生徒数 的 月の 、将来的には な生徒募 商店 来 年 4 年2回、 や民宿 御宿の が御宿

を進め ては、 ライフライン設備 また、普通教室棟につ 設として 電気・・ 水道など 喧庫など 応した 用 0 復

> とも視 きる施設運営管理を行っ 集図 ていく予定です。 るほ が安全安心して活動で など幅広く利用 か、 野に入れ住民の皆 活用用途の でするこ 慕



▲開校した私立中央国際高等学校

含めた意見交換会を行い、 員会」では、 普通町有財産活用検討委 代 なる町有財産の活性 表 そのほか 者で構成された「町 現地視察を 有 識 者 や住

デジタル技術を活用した 住民・来町者向けサー ビスの展開

【情報施 策

Wi-Fi設備整備

設備の需要が高まっていま 高速通信を可能とする無線 レット端末の普及により、 ス マー トフォンやタ

ツイッターへ案内するQR カードを設置し、 沙漠記念館にW-FiのID とすることが出来ました。 や「月の沙漠公園」のらく 夏の時期に訪れる方の多い 置しました。これにより、 してあるW-Fi設備を改修 月に月の沙漠記念館に設置 し、屋外向けアンテナを設 御宿ウォーターパーク の普及を図るとともに、 、像周辺を通信可能エリア そのような中、 ウォーターパークや月の D カー ドを配置し、 ドに観光班公式 町では7 利用者

> Wi-Fi -Access Point-SSID Hotspot99 Key 1234567890 ONJUKU Waterpark

Wi-Fi

置個所を増やしていく予定 えることから、 W-Fi設備として今後も設 費用負担が少なく導入が行 敷設されている施設へは、 しています。既に光回線が ホールを通信可能エリアと 設置し公民館エントランス ステーション」を3月に 日本が提供する「光た、町公民館へNT 屋内向け

光インターネットの普及

めていきます。 W-Fi設備整備に イ 信網を活用した事業に努 のであり、 の整備により実現したも も、この光ファイバー網 の補助金を活用し、光ファ 町 では平成22年度に ・網を整備しました。 今後とも光通 いつ 7 玉

もに、 を働きかけます。 後ともNTT東日本との の醸 及率の向 ターネット初心者向けパ 協力し、パソコン・イン ソコン教室を実施し、 度はNTT東日本-千葉と 力体 その一環として、 ついて継続的な実施 成に努めました。 パ 制を維持するとと ソコン教室の開 上や利用者意識 今年 今



――~400年前から続く絆の歴史~国際的観光地「御宿」へ

御宿を目指して「ライフセービングのまち」【観光振興】

関心 地 にあ るといった本来の良さや、 てのイメージが強 若者たちの交流 なら 域 地 れ 現 が失われつつありまの恵まれた自然への ります。 等に . Þ 域 在 ではの自然に 減 0 0) 方々の 少して ょ 海 ŋ 水浴 また、 の場とし いる傾向 海 海 場 ぞ見 \(\) 水浴 水浴 触れ 単に 季 客

ング全 フセー 東日 る海 渡るライフセー 会を同時に誘致し、「ライ 生選手権大会及び国際大 するため、 初の試みを成 こうした 本予選会、 0) 13」と題した全 魅力を再アピー 日 本選手権 ライフセー 中、 約2週間に 御宿 功させま ビング 全 日 大会、 本学 が誇 ビル

> 観光資源の充実を図る大地域ならではの特色ある交流の拡大はもとより、 きな 技会の 口 ちとの交流による教 6 ス ストラリアを始 0) ライフセービングの グラムも実施 力 一歩となりました。 選手と地元の子供た 玉 開催とともに、オー |界トップクラ めとする 玉 育 基 際 プ

いうものがあります。ここさない自分になる」 と本教育の一つに「事故を起ライフセーヒンクの基



▲国際大会 開会式の様子

生きていることの喜びやきる力」を育むことを大きる力」を育むことを大切にしており、「自分の生命は自分が守る」という命は自分が守る」というで受け継がれていくことを願っています。

盤強化を図り、安心・安フセービングクラブの基 ビングのまち」として 際大会の誘致進めてい 全な海水浴場のPRによ せるとともに、 ランドイメージを確立さ 皆さんの意識の イフセー 加 将来的に「ライフセ さらには、 ビング大会や国 宿泊客の誘致・ 高揚 地元ライ 各種 やブ ラ 0)

・プールでの取り組み

海

は自

の生命を見

0

に新 しました。 施 たな取 **心設にお** 年 は、 'n 組みを 町 て、 内 積 で 実 極 0) 施的 観

実施 の周 図りました。 客にノベルティの配布 ラッグスの小イベントを ては、「ライフセー ウィーク御宿 ない、 まず、 知のため、 参加した海水浴 大会への誘客 海 水浴場にお 2 ビーチフ -ビング 1 3 を を



▲ノベルティ

ントに取り組むとともに、ンケン大会や各種小イベターパークにおいては、ターパー

と深 た。 贈呈 ました。 を増加させることが 分に楽しんでもらえるイ 者に体感していただき十 シコの文化を町民や来訪 2 日 K ントが貯まったお客様に タンプ制を導入し、 ベントとなり、 エビアミーゴのタオルを ンテストの実 エビアミーゴイラスト U さらには、「ONJ い繋がりのあるメキ 間 わ d たり開催、 e 誘客を図りまし 施や入園ス メヒコ」を 利用者 へでき 御宿 ポイ Ŭ コ

理に努めていきます。で安心な観光施設の維持管は、清掃点検等を行い安全トイレなど様々な観光施設トイレなど様々な観光施設

6

▲観光キャンペーン

米原G·C

御宿海岸 Onjuku Beach

日·西·墨三国交通 発祥記念之碑

↑ 31km

1

▶圏央道開通に伴い設置した観光誘致サイ

そのためにも、

各種

水産資源の活用

普段 本有数 な価 く伊 味わってもらうことで「食 まで大勢の皆様に楽しく 開催しています。 えびを活用し「おんじゅ OO本物の味を大人から子供 材を地元ならではの格安 特産品として有名な伊勢 勢えびをはじめとする新 型観 な海 魅力をアピー 町 でも、 味わう機会の少ない 格で提供することで、 勢えび祭り」を毎年 宿 として新しい御宿 では、 産物の宝庫です。 町 0 漁獲高 外房地域 町を目指 ・ルし、 0) わ を誇り、 高級食 び、 化 食 対を を目 すと が日 通 伊

> 付取外 ż 的としています。 ŋ ブランドの促進を図 け 房 び また、「おんじゅ や外房伊勢えびの千扱店の来客者の動機 地 祭り」を拠点とする 区一 帯の伊勢えび く伊 勢

広域的な取り組み

等を行 5 また、 に 設 市に 房 ネ Oット 集客を目 務 で 町と連携を強化 参加しています。、近 観 現 都 在、 0) 圏央道開通に伴い、 ・ワー r V 観光キャンペーン 市 連 光客を誘致する 外房地域へ多く 地域の魅力発信 部の駅や商 !盟としての活 中 - 房総観 指しています。 - ク協議: 会や外 光推 L なが 業施 隣 動 進

識

しています。

へとシフトする時だと認

 Δ

に観火 う、様々な体験プログラ 来ることが目的となるよ に来ること」「御宿海岸に 来る場所ではなく、「御宿 設置しました。 関係団体との連携の強化 や地域参加型イベント かイベントがあるから 現在、町においては、 光誘 市 B致サイン看垢 原鶴舞ICは 板 付 近

ベント、体験・学習から町民主体への知可主導の従来型イベ 目指 など、 いと考えています。 い取り組みとして、「ライ 新しい取り組みが必要と ズも多様 う観光への る段階にチャレンジし グウィーク2013」の 施した「ライフセービン フセービングのまち」を されています。その新し 町総合計画におい 主導の従来型イベント 及を生か 住民・観光客のニー 第 1 化している中、 需要の高まり して、 歩として実 学習を伴 親光イ ても、 次 な

> ではなく、農業、水産業、はもとより、引き続き、保団体の枠を越えた連携 取り となって町の観光振興に ろんのこと、住民が一体 や参画を得ることはもち 魅力アップを図っていき 推進し、 商工業等各種産業の協力 組 める体制づくりを さらなる御宿 0)



商 工 振興

地 1 始しました。 な取り組みとして、 ブグル 地 商 元の食材を使用 工 メ開発事 については、 業 「ご当 を開 する 新 た

> ② 町 で提供可能なもの 内 な価格で提供 飲 食・ 宿 泊 店 で 全 き

提の コ ン セ プトと

を大前 ンター協力のもと行いまし 修会」を県及び産業振 して、 催した伊勢えび祭りで 者が学び、9月、 げ」とし、8種類のオリジ 月には、 向け意識を高めました。7 し、ご当地グルメの開発に 観光業者等約30名が出席 おける商業・農業・漁業・ た。研修会では、 工連携・地域資源活 ナルかき揚げを町内関連業 元食材を使用した「かき揚 調理講習会を開催しま 講習会の題材は、 今年1月に 料理専門家を派遣 10月に開 町内に 興セ 用 地 研



▲今回開発した「おんじゅく揚げ」

めます もご当地グルメの研究・ 者等へ披露しました。今後 発を関連業者と協力し んじゅく揚げ」として来訪 進 開

行う商工会に対し支援を 行うほか、 中小企業振興利子 対策としては、 行いました。 町内中 小企業者 経営改善等を 引き続き 補給を 0 金 融

客に対する認知度のについても、住民や を目的 主体となって実施していまた、商工会女性部が 目的とした支援を実施に対する認知度の向上ついても、住民や観光のいるし雛事業の拡大 化を促進していきま つるし雛による地域

【雇用対策・消費者対策】

セミナー」を開催。町民ターと連携し、「就職支援 今後も地域の雇用の場の 機会の充実に努めました。 用対策について順次進 大なども視野に入れ、 県ジョブサポートセン 職や生活相談をする 用対策としては、

悪質商法には注意しよう!

悪質な訪問販売などによる 被害のさらなる未然防止に を作成・全戸配布します。 て、エビアミーゴのタオル の習得に努めました。 する消費者の知識、 「消費者自立支援講座」を また、県の補助金を活用 センターの講師を招き、 そ 消費者啓発グッズとし 高齢者をはじめと 消費者行 技術

みんなで快適な消費生活を!

努めていきます。



町では、 今年の5月に

41 **,絆で結ばれたテカマチャル** との姉妹都市協定締結 コ 市

強

国際交流事業

歴史が語る 新たな姉妹都市協定

は

定 0

締

コ

市

で

締結しました。 キシコ合衆国 ルコ市と姉妹都 成 10 ーテカ 月 23 市 マチに 協定 7

姉妹都市協定となりまし て、「友好の絆」がこの 満ちた勇気ある行動そし 流日 この姉妹都市協定 の歴史が刻まれてお 本とメキシコ両国 先人たちの人類愛に この 交 文 、

月にはルベン・バルカサルに親交を深め、平成24年10チャルコ市訪問により相互 との絆がより深くなりまし 市長夫妻が御宿町に来町さ るとともに国際交流事業を 西墨友好の絆記念日」と定 め、2度にわたるテカマ 町とテカマチャルコ市 友好の絆を後世に伝え 9月30日を「日

> もに渡航し、3度目とな シコ親善友好使節団とと い絆を確認し、10月メキは歴史に裏付けされた強 妹がマ た。これにより、 親 都 テカマチャルコ市 来 チ 町 ヤ 書」を伝達されまし 市 提携を呼びかける 0 市長からの 本町で 7 訪問 0 力

姉 団 設置や1,000人以上のは、御宿姉妹都市通りの で姉 調印式が行われました。 市民に歓迎され、 なりました。 テカマチャ 妹 都 市 協

盛大な

続き国際交流の発展 組みます。 今後も友好を深め引き 取



▲調印式(上)、協定書(下)

農業者の生 産意欲 向 上に向 けて

風 に努めています。 評 年も千葉県による主 0) 被害の防止、販 0) 射 影響に 性 検査結果を掲示し、 出はありま 査を実施した結 の農 ホームペー つい いせんで 林 て 売 水 促

農家の 業経 へ の とともに、 農家の加入を推進し、農所得補償制度)」への稲作対策(旧称:農業者戸別 対策を推進しました。 環 Ü 5 0 き続き「 農業施策につい 負荷の低減に取り肥料とするなど環 ない 営の 境 低 減 保全型農業直 荷の低減に取 時に菜の花 を目 安定化に 経営 化学肥料 的 所得安定 に、 資する 7 り環を米組境栽を や農 接 は、 支

を 有 害 入防護柵の設 [鳥獣対策につい が設置 X か ら、よ で 0) 置 ŋ 単 7

差

消や水利施設

の設

事当

実施効果として高

ザ年ザ

エご飯

地消の商品

とし

7

ご飯をPRし、新たレシピを添付したサ

また、

エ

0)

の利用法として、

今サ

法として、

携し、獣 猟 13 合布 1整備 て設置しました。 友会と実施 施 打 進 0 事 越 業の中 層の有害鳥獣 捕獲事業とも連 ていきます。 整備 している有 Ш 間 地 地 また、 こにお 域 対 総



である7・2 haが完了することで全体の約60%が完了します。山間部の多ってします。山間部の多ってします。山間部の多ってします。山間部の多ってします。山間部の多ってします。山間部の多っている。 中平 成 22年度より着 工 L

生置 一産条件 の境 向整 上に 備 を 努 図 め ŋ ま

つくり、

育てる漁業

0

推

進

フ た ル オ の普施 できるよう努めます。 検成維 ま 少なく当 7 た、 普及を検討しています。 後 持 11 向 の農地の 1 IJ 比 上と併 ツの 本事業を有効活用 1 完成 穫 ブや 町 的 町 祭など販路 試 0) 利 0) 験的 したほ場 せ、 パ 気 理 ツ 用 0 事業完 ション 方針を 家 栽 手 培を 間 に化 合 で 0) が対し



▲オリーブの試験栽培

設置について、漁業者、も認定されている外房アリビの漁獲量の維持・向上を図るため、アワビを上を図るため、アワビを上を図るため、アワビをがら守る人口魚礁の メの老木刈り等を併せてザエの規格外放流、カジ流事業や、伊勢えび・サました。毎年行う種苗放 研設天 置敵 のが、変 します。 定 変化 究者と をできる環境を整え、施することで、安定供 なため、 施 近 業全体の た 近 老木刈り等を併せて などを行 から 年 共に検討を始 漁獲量 漁場 活性化を目 安定供給 っています 安定 が不安に、環境 カ・甘放め が難 0)



の水産物を周知しえび祭りや収穫の 拡大に努めます。 み ま L た。 祭で 後 b 御 伊 消 費 宿 勢

▲伊勢えび祭りにおける水産物の販売

安全で暮らしやすい 生活環境基盤 の維 持 • 向

上

であ

る岩和

地

崩

壞対策事

【建設

道路・河川・ 住宅事業

寺 付 ガ 5 月] 近 路 策をはじめ、 0 λ 行 沙 で 線 政 久保岩の井潭はじめ、排力 漠通りの 付近 X ま か 良 んらい 一上布 な整備 す。 事 、ます。 0) 交通 今 要 は 水整 酒川造商 先 施 年 13 安全 をも 宝 取 に泉先店備

じ、

陥没箇所の補修等に然的なパトロールを通

細

かく対応しています。



▲駐車違反対策用ポール

HH

り等)を実施し、和田大福寺付近・改良においても5歳 速木やの 定り ぜ ŋ は、 境 た。また道路の「水たま の改善を図ります。 ゼ やかな対応に努めまし ながら、 口 伐 行 路 しを目 政区との連携を図 維持管理につい 路面表示など 側溝清掃や樹 標に掲げ、 交通 市 7 通

歩道

設置 画

の学通道施傾

勝

浦

L 斜

てい

ます。

安全対 校

から新宿交差点まで至対策として布施小畑布施大原線では交

いから新

田団地では台風被害によるの対果的運用、各種相談の効果的運用、各種相談の対理に取りがある。また、岩和組みました。また、岩和組みました。また、岩和制度を耐震診断補助制度 屋かのり 営 1住宅の維持管理はもち住宅関係事業では、町 したところですが、 々に大変なご不をお 漏りが生じ、入居者地では台風被害によ 防水対策を実施す 内装補 安全で快 各種相談 関補助制度 和 ŋ

> 【水道】 営により安全で安定した 施設の更新と効率的な経 水供給を目指します

水も、 整備 サー 改善に務めています。 貯水量が減少しました。 水量が少なく御宿ダムのも、昨年同様、夏季の降水源の状況は、今年度 するため、水道施設 町 **偏や更新を進めるほか、するため、水道施設の水道水を安定してお届** ・ビスの で 向 住 門上や経 民 興宿ダムの 夏季の降は、今年度 いの皆さん 営 0

量と南房総広域水道企業今年は活性炭の注入量増 からの受水量 水質管理については、 の増量・ の保全

> 発生を防止しました。 に のに いて実施 :業を浜区 岩和 水 水 \mathbb{H} 須 本 の区賀管

た、 和田地先に制水弁を追加しの影響を抑制するため、岩 等の更新を行いました。ま ました。 度は次亜塩素注入ポンプ 更新を行っています。 の低い施設について、 を経過した施設や修繕効果 を実施する一方、耐用年数 水場において、施設の修繕 施設整備については、 漏水や工事に伴う断水 今年 順次

ています。

計

的

にすすめられ

がありますので、迅速に用している箇所については、耐久性の高い材質の路の陥没や、広範囲での水本管からの漏水は、道水本管からの漏水は、道水本でがありませので、鉛管を使がありますので、鉛管を使がありますので、 対応しています。 また、 今年度は、 漏 使 水

辺する 備 を 口 修 . 繕にあたっては機 復できる範囲 新 0 耐用 年数 用 ょ で実 や 設周施能

> 面 で 入新を 断 を実施

度も減少傾向にあり、厳を化法」による資金不足をといいて、資金でしたが、水需要は今年でしたが、水需要は今年の発生はありませんでしたが、水のませんの場合において、資金の場合にありません。 ます。 の修繕に掛かる負担 い経営状 支出面では、 面 で 況 が 続 いて 成 が増備 政 24 い厳

施施た 設 の維 ながら経営改善と合 水を継続するため、 持管理を順次実 安全で安定し



【ごみ処理

る生活環境の保全 指定ごみ袋制の継続によ

定ごみ できました。 力の 入前 皆さんの 以 成 É 袋制 上 24 後 円 と が 年 ?経過し 滑 1 が 10 指定ごみのご理解、ご に 年 ス 月 間 制 タ 1 度移行 まし 0) 1 H ~ } 13 Z 袋 た L 指

量 を比較 すると、 Þ

> ごみに より、 て排 思われます。 等 7 P 類 ぼ標 ン・ビン・ せ が、 11 せるごみとして出 13 ク である20%の減 るごみ、 ノリア つい 出 た きちんと分別され 増となっ されていることに 雑紙やダンボ ついては当初 ては、 しまし \sim 資源 、ット)、 今まで燃 たもの た。 ごみ 量 され 古 1 を Oル 紙 ほ 目 大 力

人当たりが1日にまた、御宿町の 下 均では約1、 年 グラムの1・4倍 み で最も多い) 度までの 0) 千葉県平均1、000 量で見ると、 過去5年間 4 0 0 となって に出 0 (千葉県 平成 住 グラム すご 民 23 1

たこ ラムの減量となりました。 を を負担してもらうこと 出 減量の主な要因として、 余計 という意識 価 量に応じてごみ袋代 としたことによ なごみを作らな ば 、源ごみ専用 が高 ごとし まっ

指定ごみ袋制導入後

平成 24 年度 10 月

指定ごみ袋制導入前

平成 23 年度 10 月

導入前後比較

~平成 25 年度 9 月

~平成 24 年度 9 月

資源ごみ

319.95t

384.00t

△64.05t

⟨△17%⟩

ラムとなり、

燃やせるごみ

2,594.93t

3,273.24t

△678.31t

⟨△21%⟩

粗大ごみ

15.69t

25.45t

△9.76t

⟨△38%⟩

合 計

3,196.64t

3,937.46t

△740.82t

⟨△19%⟩

古紙類

266 07t

254.77t

11.30t

(4%)

制い

導入後は、

1、100グ 約300グ

ましたが、

指定ごみ袋

ごみ 幅 とによる、 合 5 な抑 わ れ ごみ せた額 · 袋代金 ること、 制 等 出 を近 が越 に L 心境ごみ 考えら 設 ま 費 降市 定し た、 用 が れ た こ た こ 町 指 抑 と 定え

ごみ減量・分別リサイクために、今後も引き続き、 を低 ル 環 理 ごみ 推 境 13 を後 進 減 係 る費 ĺ を減 への皆さんのご理 力をお願 世 より iz 用 5 り良い生活のし、ごみ処 残 んしてい <

【環境整理 備

私たちの手で きれいな海や川づくりは

流汚 管 浄原出れ れ出水が 0) 化 大 さ は河 料と物 水質净 ことか !槽も がされていなけ と言 れ 皆 Ш 小がその らさんの る生 ることになります。 ゃ きちんと清 海 わ 活排 岸 資 化のための 5 れ 町 で配 まま河 家の 7 で 水 庭 水 61 が主ながまな は、 ます。 川ればや L

> ます す。 配 布 物河 Ш 0) 0 活 浄 用 化 をお 0 ため 願 11 に L

も環 美化に努めました。 道 さ ビ また、 路等公共用地につい せて取り 1 - チクリーナーを稼動環境整備員の配置やまた、海岸の美化のた 境整備員による草刈 掃作 :業を 組 h だほ 実 施 か、 Ļ 7



▲海岸美化の維持

法を工 ティ うござい 協ボ ボ 今 すい 力を ラン ラン 年も ア 用ごみ 1 テ 夫するなど活 テ 境 ました。 ただきあ 1 イ 多くの アの づくりに く袋の配が 方 海 河 ボラン 々にご ŋ Ш 岸 がと 布 清 清 方 掃 掃

ます。 を大切 ファ これ 業を ネ れ す ル 7 11 ギ] ら 61 K 貴 月] と関連して、 ム ます 等の 且 重 か 設 生なエネル 備設 0 5 これ が、 効 実 置補: 率 検 さら ら補 ギ 工 助 下

▲補助金の活用により設置された太陽光発電 システム

すん持、 自然エネルギーの活用や のご保 協 全 一する 力をお願 ため、 11 しま 皆 さ

省エネルギーを推進

設置 宅 用 及 事 太 推 生 業 陽 進 可 補 光 を 能 助 発 図 工 住宅用省 電 ネ 金 る 入施して システ ため、 が ル · 的 に 活 ギ 用] ネ に 利 1 事 工 さ A 11

より

よい

生活空間

を

町 民が健康で 自立した生活を送れるように

医療保険

費が 高額 ています。 算療養費の支給等を行っ 玉 質の給付に加え、 国民健康保険では 療養費や高額介護合 高 額になったときの では、 医療

ました。 費用と負担の均衡を図り の税率等の見直しを行い、 今年度は国民健康保険税 医療費に対応するため、 近 年の増加傾向に ある

化に向けた取り組みとし めています。 者に対する訪問指導の実施 品)を利用した場合の差額 ネリック医薬品(後発医薬 など、医療費の抑制にも努 通知の実施、重複・多受診 を実施するとともに、ジェ 同時に、 引き続きレセプト点検 医療費 0) 適正

特定保健指導、 ため、 しています。 ック費用助成などを実 健康保持・増進 特定健康診査・ 短期人間

みとして受診率が低下傾

ました。 価 や課 |等実施計画」を策定し に「第2期特定健康診 指 導は、 定健康診査 題を踏まえ今年3 開始からの ・特定保 評

行い、保険料の賦課・徴分かりやすい制度説明をおいても、被保険者への 組みや保健事業にも積極に、医療費適正化の取り 収事務をすすめるととも 的に取り組んでいます。 後期高齢者医療制 医療費適正化の取り 度に

【保健予防】

事業に加え、今年度から 等による健康教育・相 来からの保健師・栄養士保健予防事業では、従 防対策として、小学校や の予防に取り組みました。 し、糖尿病やその合併症 「糖尿病予防教室」を実施 育 また、幼少期のう歯予 ・年度の新たな取り組 所に歯科衛生士を派 啓発を行いました。 談

調査を実施しています。 感染症予防においては、 率向 全員に対し検診状 る 上を目 が 的 h 診

宮頸がんワクチッフ・ヒブ、小児肺炎球菌、子 接種が定期予防接種とな 予防接種法の改正に伴い、 ました。 り疾病予防の充実に努め がんワクチンの予防

福

心・安全な生活に役立てを超える中、高齢者の安 設置事業を推進していまるために、緊急通報装置 めています。 避難支援台帳の整備を進 体制づくりの基礎となる す。また、地 高 齢 高 化率が 齢者福祉 43パーセント 域支え合い では、 町 0

実施し、障害者総合支援関と連携した相談支援を 地 とで障害をお持ちの方の 給 ビスの利用や福 法に基づく障害福祉サー 付、 々な制度につなげるこ 障害福祉では、 での生活を支援して 医療 障害者総合支援 **夢** 助 祉 成など、 関係機 用具の

ま

況対の

設置しました。 子ども・子育て会議」を などを審議する機関とし 支援に関する施策の推進 に応じた子ども・子育て づき、家庭の状況や需 ども子育て支援法に基 今年9月に 子 「御宿町 祉 で は

訓練を定期的に行うなど、 震や津波を想定した避難 よる真夏日等の熱中症予 に取り組んでいます。 安心・安全な保育の実施 防対策の実施、また、地 症 指数測定機器の導入に の放射線量測定や熱中 保育所では、 給食用 食

て出張保育や子育て相談取り組むとともに、子育化を目指し全面芝生化に います。 など子育て支援を行 児童館では、園庭の緑 って

【介護保険

定を受ける方も増えていい、要支援・要介護の認上の被保険者の増加に伴上の被保険制度は65歳以 ますが、 居宅や施設にお

> 迅速に提供できるよう認 定・給付の事務を行ってい 要なサービスが

んでいます。 教室」の実施や、近隣団 区巡回型の「元気いきいき 護予防事業の充実に取り組 学校」を開校するなど、介 と連携・協力による「鶴亀 体、介護サービス事業所等 の方が参加しやすいよう各 を継続するとともに、多く 鶴亀教室」・「鶴亀くらぶ また、介護予防として、

います。 齢者の生活や介護に関す では、福祉事業や地域の る相談支援に取り組んで おたがいさま」・「たすけ い」と連携しながら高 地域包括支援センター



▲巡回型「元気いきいき教室」

気軽に立ち寄れる空間づくり

動が行われています。 などの様々な生涯学習 開催や自主グルー 公民館では各 種 プ活動 教 室 活 0

皆さんは、 アとして協力いただいて 室の講師などボランティ るとともに公民館主催教 や絵画をはじめとする各 います。 の日ごろの成果を発表す 展示や音楽・芸能活動 教室や自主グループの



▲文化祭 コーラスの発表

遊びながらの学習や民話、 自然観察なども取り入れ 課後子ども教室では

> 験プログラムを開催して 干物づくりなどの文化体 リーンカーテンづくり、 力による公開講座や、グ れる体制を整えています。 ども達を育む活動を行っ 談員による相談を受けら 7 ながら、 また城西国際大学の協 いるほか、家庭教育相 域 気にお いて子

史実を後世に伝えるため、 絆を深め、400年前の スペイン・メキシコとの くりに努めるとともに、 新たな学習のきっかけづ 施しています。 など、文化交流事業も実 によるコンサートの開催 両国にゆかりのある方々 大使館の協力を得ながら

努めています。 域の文化や歴史の継 企画展示などを行い、地 示や歴史民俗資料館での |ミヤコタナゴ」の その他、国の天然記念物 飼育展 承に

ができる空間づくりを ち寄れ、楽しく生涯学 今後も皆さんが気軽 13

【B&G海洋センター

事業を行っています。 代に合わせた健康づくり 幼児から高齢者までの年 ニングルーム等を活用し、 は体育館やプール、トレー B&G海洋センター

リズム体操教室

行っています。 うため、様々な運動遊びを の協応性やリズム感等を養 団遊びによる協調性、動作 を動かすことの楽しさや集 になる」を合言葉に、身体 なる・好きになるから上手 室は「楽しいから好きに 教室を行っています。教 少を対象としたプチリズム 対象にリズム体操教室、年 育所の年中・年長 を



ロビクス教室を実施してづくりを目的としたエア います。 運動不足の解消や健康 0 方を対象に、 H

内容は早歩き程度の有

RAC

酸

素

運

動

とダ

ンベル

ゃ

楽しみながら運動週間を身につけましょう

(レクリエーション・アフターズ・クラブ)

ルの中でアクアビクスを トレを行い、夏季にはプー チューブなどを使った筋

ゲームを楽しんでいます。 リェーション活動を行って 場所づくりを兼ねたレク て体育館や周辺の安全な います。季節や天候に応じ を対象として、放課後の居 所を使って各種運動や 小学校1年生から3年

子ども水泳教室

す。 水泳教室を実施していま ども達を主な対象とした 生までの水泳が苦手な子 しています。 み期間中に集中して実施 委員の協力のもと、 小学校1年生から3年 御宿町スポーツ推進 夏休

> たいと思います。 くの方にご参加いただき く運動できますので、 音楽に合わせて気持ち良 行っています。いずれも 鶴亀教室&鶴亀くらぶ В & G 多

り組んでいます。 な機能の維持・改善に 動を実施し、 自宅でも簡単にできる運 の維 ています。バランス感覚 歳以上の方を対象に行っ たきり予防プログラムを、 持や筋力トレなど、 祉課と連携し、65 財団の転倒・寝 生活に必要 取

健康体力チェック

エアロビクス・

アクアビクス

筋力・ 日ごろの運動習慣の成果 b ができます。 体力測定を行っています。 Ł 国際武道大学の協力の や、 有酸素能力などの 秋口に骨密度や、 体力年齢の把

まちづくりはひとづくり 未来を担う「人づくり」を教育に~

基本方針である「まちづ を進めています。 活かした特色ある教育活動 と連携しながら町の特性を 応じた指導に努めるととも するため児童生徒の個性に くりはひとづくり」を推進 に、関係機関や地域の人々 教育課学校教育班では、

との交流活動を活発に行っ セービング大会出場選手等 や野沢温泉村や国際ライフ 観察会など様々な体験学習 を育むため職場体験や自然 また、個々の「生きる力」

【御宿中学校】

「交流の町 御宿」で

生きる力を育てる

た美しい海岸を愛する様々 ン・メキシコとの交流を始 異国船漂着に始まるスペイ す。それは、400年前の な人々との交流など、この 温泉村との交流、また、童 「月の沙漠」にうたわれ 39年間続く長野県野沢 宿は『交流の町』で

> 動に取り組んでいます。 付いたものです。 むための独創的な教育活 生徒の「生きる力」を育 ながら、『交流の町』とし ての御宿の特性を活かし、 本校は、地域と連 の歴史と自然に深く根

を育む 交流の歌』で豊かな情操

等で歌い継いでいます。 思いが込められています。 切にしようとする町民の すっかり定着しています。 本音楽の授業や学校行事 意と三国友好の歴史を大 の曲には、かつて多くの 記念して創られた合唱曲 人命を救った先人への敬 あの日を忘れない』。こ あの日を忘れない』は、 に宿中の合唱曲として、 H 墨西交流発祥の地 を

きる力を育てる 山の子との交流 で生

な学力を育てる ⑴問題解決型学習で確か

> です。 普段、 思議』を探し、それを紹 ている風景の中にある『不 動 介しようという取り組み 会では、本校生徒が御野沢温泉中学校との交 を取り入れています。 町を紹介するという活 生徒が何気なく見

温泉中の皆さんに紹介し ちの暮らす御宿町を野沢 自分たちの視点で自分た とめていきます。そして、 てその課題を解決し、ま を見つけ、追究活動によっ クで町の中の『不思議 生徒はフィー ルドワー

し豊かな心を育てる ②生徒指導の機能を活か ました。

真剣に考え、交流会当日 んへの「おもてなし」を しています。これにより、 活動に取り組めるように 生 決 交歓会や各式典の内容の る実行委員会を組織し、 定、 徒は野沢温泉中の皆さ 徒が主体となって交流 分の役割を自覚して、 交流会では、生徒によ 相手を気遣いながら、 準備・運営など、

> ことで、 生徒指導の機能を活かす る場面を意図的に設け、 るようになりました。 2 んなで協力して活 徒が主体的に活動す 生徒の豊かな人 動 す



▲御宿海岸での「海の交流」

交流』で生き方にふれる 御宿を愛する人々との

催されたライフセービン 9月には、御宿海岸で開 グの国際大会に出場した その大隈先生を招き、絵 大隈武夫さん。今年度は、 いている「砂漠」の画家 . 教室を開催しました。 ップアスリートと交流 宿で度々、 個展を開

> 黒沼ゆり子さんのリサイ 御 キシコを本拠に活躍 タル鑑賞も行いました。 る世界的バイオリニスト しました。 宿をたびたび訪れてい 過去には、 メ

力することの素晴らしさ を感じ取って欲しいと その道の一流の方々と交 っています。 することで、自分を磨 御宿と関わりの深い、 夢と情熱をもって努

うにしています。

間性を育む機会となるよ



でカナダ選手と交流 「書道」

【御宿小学校】

「元気に学ぶ」 〜体も頭も心も元気

感性を育む

ての面で感性を育む事が本校では、教育のすべ ています。 活動を積極的に取り入れ な体験活動、 大切であると考え、豊か 良質な言語

重視しています。 調理して食べる体験」 ため、「育てて、収穫し、 給食を食べたりしました。 キュー2013に参加さ ナショナルサーフレス 房州御宿音頭を踊ったり、 大学の皆さんをお迎えし、 れた4カ国の選手、 緒にゲームをしたり、 また、食育を推進する 9月には、 インタ 拓殖

た。そして、 ら寒天ゼリーを作りまし さんである市東はる江さ 者と一緒に、現役の海女 5日には、2年生が保護 くさんの海の幸があるこ んに教わりながら天草か その一環として、 御宿にはた 11 月

やかに安全な場所に避難

また、学校以外の場所で

大地震が発生しても、

速

で防災の授業に取り組み

できるように、全学年

自分の命を守ること

地域の食文化のよさを知 る良い機会となりました。 とについて話を聞くなど、



安全・安心な学校づくり

▲海女さんに教わる寒天づ くり

▲サバイバル・

【布施小学校】

につけた、 かな学力と豊かな心を身 郷土を愛し、健康で確 たくましい児

童の育成 よく考え、進んで学ぶ子

指導を推進しています。 音読指導等、 す。特に、ドリル学習 指導の充実に努めていま に応じて、きめ細やかな とりひとりの学びの状況 リットを生かし、 本的な学力の定着を図る 少人数という本校のメ 基礎的・基 児童ひ P

当たっても衝撃を受けに

漬かっても体温低下を防

知識や技能

(長時間水に

ぐことができ、漂流物に

浮き方を体感し、

生き残

教室では、救命胴衣の

バイバル・スイミン

るために必要な専門的な

る読み聞かせ等を実施 ボランティアの方々によ むために朝読書、 読書に親しむ子どもを 地域

助けを求めるシグナル等)

んで助けを求める姿勢、 くい基本姿勢や円陣を組

について学びました。

郷土を愛し、 思いやりのある子

スイミ

学習活動を推進しています。 者ふれあい学級等」、地域の 作り、」お飾りづくり」「高齢 を育む場として、 や「布施まつり」は郷土愛 習や体験活動の充実を図っ 方々を講師にお招きしての 方々とのふれあいを大切に ています。特に「運動会 しています。他にも、「お米 土への愛着を深める学 地域の

とっています。 を理解・支援する体制を り班での遠足や業間体育、 ン」等を実施しています。 命を大切にするキャンペー また、全職員で全校児童

かあいさつ運動」、全校縦割

かな心を育むため、

「さわや

思いやりや社会性等の豊



▲布施まつり



▲運動会

健康でたくましい子

える食育教室」、「ふれあ の充実も図っています。 学校医、保護者と連携し、 た、学校保健会委員会で びを励行しています。 い給食」を実施し、 協議の実施や、「親子で考 子どもの健康についての 運動に親しむように外遊 より、「チーバくんマラソ イム(業間体育)」で様々な (ロング昼休み)」、「青空タ ン」や「わんぱくタイム 育の授業研究はも 食育 ま

域ぐるみの教育に努めて 地域が一体となって、 いきます。 今後も学校・PTA・ 地

① "笑顔と夢が膨らむまち" 御宿町第4次総合計画始まる。

この計画は、今後10年間の町政運営の軸となるもので、町政全般にわたる総合的かつ最上位の計画です。「安全安心なくらしの実現」、「福祉・教育の充実、子育て支援」「自然環境の活用と保全」、「産業連携の活性化」の4つを特色あるまちづくりの重点項目と定め、町と住民の皆さんとの「協働」により、住んで良かったと思えるような町を実現することを目標としています。

②御宿中学校体育館・柔剣道場の竣工、 グラウンド整備開始

御宿中学校体育館及び有剣道場の竣工式が4月24日に行われました。環境に優しく、機能的なこの体育館は、雨水タンクや外部電源取込口の設置が施され、防災の拠点としての活用を期待されます。また、中学校グラウンド整備工事を7月に着工し、現在工事が進んでいます。土は野球場の内野を除き、飛散防止効果のあるグリーンサンドを使用し、雨水を利用した散水機能を有したグラウンドとなっています。

③メキシコ テカマチャルコ市と 姉妹都市へ

10月21日から30日までの10日間に渡り、11名からなるメキシコ友好親善使節団が派遣され、日西墨交流発祥の地である御宿町と、岩和田の人たちによって助けられたメキシコの英雄ドン・ロドリゴ・デ・ビベロの生誕地であるテカマチャルコ市との姉妹都市協定が現地時間の10月23目に締結されました。

メキシコ友好親善使節団 Misión de amistad y hermandad con México 2013.10.21-10.30(De 21 a 30 Octubre 2013) 御宿町 (Municipio de Onjuku)

④地域防災計画、 津波ハザードマップの見直し等 防災体制の強化に取り組む

地域防災計画は平成25年3月に見直しが行われ、地域防災力の向上、町内体制の強化、避難 所運営体制及び備蓄品の見直し、防災拠点施設の整備、津波対策の強化・推進、放射性物質事故 対策策定の6点について修正しました。

また、それに伴い津波浸水地域や避難所の見直しを行いました。

務を行っており、 域の農業の発展に関する業 の安定化に向けた農地の適 止管理が期待されます。 農業経営

会を発足させ具

に新たな委員

的検討を行っ

いきます。

行っています。

後は、

それを

がされました。 設条件等の の建設場所や

)御宿町農業委員会 **委員選挙執行**

挙が執行されました。 農業委員会は、 御宿町農業委員会委員選

利用のあっせん、 地の確保、 業者の代表として、 農地事情の改善等、 農地の効率的な 地域の農 争議の防 優良農 地 んが、

(8)高齢者が働く場を! シルバー人材バンクスタート

ところで、 登録をした働く意欲のある高齢者 働く場づくりとしてシルバー から依頼のあった仕事を紹介する .概ね60歳以上)に町内の家庭等 (ンクがスタートしました。 町 シルバー人材バンクとは、 内にお住まいの高齢者の皆さ 今までの経験や技術などを 地域で生きがいを持って 現在20名が登録され 会員 材

申施所

答

9)御宿町保育所建設の検 討が始まりました。

発足し、 なる新たな保育 町保育所施設等建設検討委員会が 育所の統合と移設に向けて、 老朽化が進む御宿・岩和田両保 子育て支援の中核施設と 御宿

した。

教室」は高齢者の 防の講話やゴム 型へ変え、介護予 時通所型から巡回 チューブを使った すいよう、従来の 皆さんが参加しや 「元気いきいき レッチ等



10 高齢者福祉事業 巡回型 「元気いきいき

ことが重要となります。 り多くの人に介護予防に取り組んでもらう 催され、 高齢者の健康寿命の延伸を図るには、 教室」、「鶴亀教室」の開催 ちが、 術を競い合いました。 今年度は新たに「元

5 町有地の有効活用 中央国際高等学校

平成24年度に県より購入した勝浦若潮高校 御宿校舎跡地に私立中央国際高等学校が開校し ました。主に6月、 11月の年2回、 御宿の校 舎に首都圏から全生徒が集合し、 スクーリング 生徒の宿泊は町内の施設の利用 を行う予定で、 を予定しています。

開校 中央国際高等学校



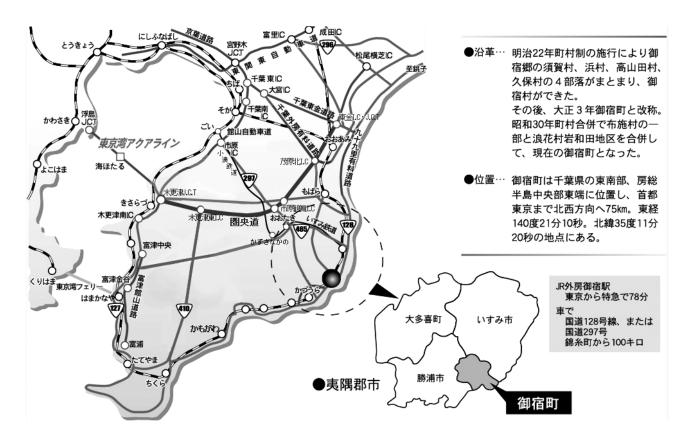
3 開催 ウィーク御宿201 国際大会と国内大会との初めての同時開催 によるイベント「ライフセービングウィーク 御宿2013 | が9月15日から29日に開 日本はもちろんのこと、 オーストラ リア、ニュージーランド、アメリカ、カナダ 等、世界各地より集まったライフセーバーた 日々磨いてきたライフセービングの技

(6)ライフセービング

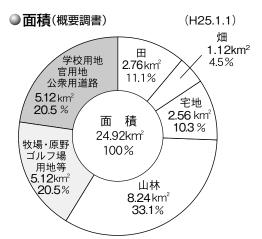
Data File ONJUKU











●年別気温・降雨量(勝浦測候所)

年(1月から 12月)	年平均 気温(℃)	最高気温 (℃)	最低気温 (℃)	降雨量 (mm)
平成 19年	16.3	32.7	0.2	1,975.5
平成 20年	15.9	31.9	- 1.1	2,094.0
平成 21年	16.0	30.9	0.2	2,152.0
平成 22年	16.2	32.5	- 0.7	2,317.5
平成 23年	15.9	32.9	- 1.3	1,568.0
平成 24年	15.8	32.4	- 2.1	2,043.0



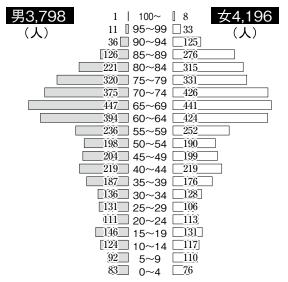


●行政区別世帯数と人口(住民基本台帳) (H25.11.30)

<i>4</i> =	政区	Д	世帯数	人	口(人	人)	
1 J	以凸	·ກ	世帝奴	男	女	計	
須		賀	410	396	394	790	
	浜		338	353	363	716	
高	山	田	101	123	128	251	
久		保	484	514	597	1,111	
新		町	552	559	630	1,189	
六	軒	町	217	252	270	522	
岩	和	田	424	503	578	1,081	
実行	学・t	:本	167	197	211	408	
上	布	施	242	283	306	589	
御	宿	台	727	618	719	1,337	
合		計	3,662	3,798	4,196	7,994	

● 5歳階級別人口(住民基本台帳)

総数7,994人 (歳)



●人口の推移(国勢調査)

(各年 10月 1日現在)

年次	世帯数	人	□(<i>)</i>	()	1世帯	人口密度
+-次	世帝致	計	男	女	平均人口	人/km³
S 30	2,022	9,753	4,519	5,234	4.8	391
35	2,047	9,273	4,313	4,960	4.5	372
40	2,068	8,815	4,053	4,762	4.3	354
45	2,136	8,470	3,853	4,617	4.0	340
50	2,263	8,484	3,960	4,524	3.7	340
55	2,432	8,486	4,027	4,459	3.5	341
60	2,452	8,267	3,948	4,319	3.4	332
H 2	2,469	7,939	3,763	4,176	3.2	319
7	2,659	8,129	3,850	4,279	3.1	326
12	2,834	8,019	3,777	4,242	2.8	322
17	2,993	7,942	3,753	4,189	2.7	319
22	3,109	7,738	3,635	4,103	2.5	311

●人口動態の推移

ケ庇		自然	動態		社会	動態
年度	出生	死亡	婚姻	離婚	転入	転出
H 12	41	97	29	14	337	331
13	50	97	39	12	299	285
14	39	137	28	7	328	308
15	43	103	19	14	387	272
16	29	139	29	13	339	295
17	30	111 25 18		18	300	294
18	40	96	27	12	325	296
19	32	129	28	11	316	266
20	48	114	28	9	289	219
21	38	123	25	8	343	261
22	31	130	25	14	319	231
23	27	149	16	12	344	247
24	28	148	32	5	291	268

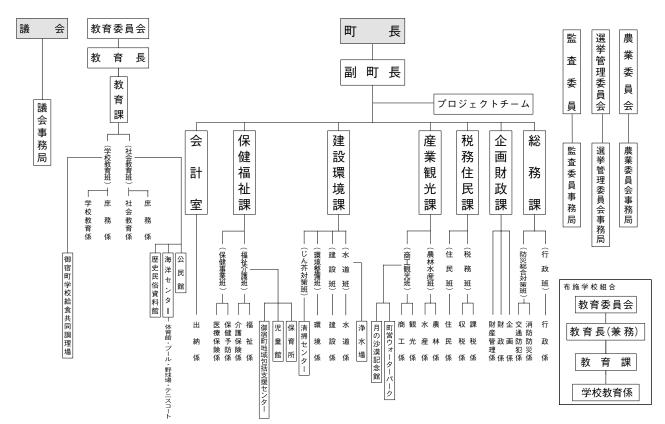
[※]出生、死亡、転入、転出は住民基本台帳の数値を 使用しています。

使用しています。 ※婚姻、離婚は、御宿町役場窓口に提出された数値 を使用しています。

得取。嚴全

(H25.4)

●機構・組織(行政・議会・教育委員会等)図



●議 会 (H25.12.1)

- ◎議員定数12人
- ◎常任委員会 総務委員会

総務委員会 7(8) 産業建設委員会 8(8)

教育民生委員会 7(8)() 内委員定数

●議会の開催状況

(H25.12)

区分		定	例会				請願		
年次	回数	会期	町長提 出議案	議員提 出議案	回数	会期	町長提 出議案	議員提 出議案	件数
H15	4	11	41	1	6	6	14	9	2
16	4	14	52	14	2	2	4	0	4
17	4	11	47	6	2	2	10	0	2
18	4	14	69	9	2	2	3	0	6
19	4	13	76	6	2	2	4	9	4
20	4	12	63	6	1	1	1	0	2
21	4	28	48	9	7	7	22	2	3
22	4	7	49	6	3	3	12	0	5
23	4	13	55	5	4	4	7	10	1
24	4	13	56	15	1	1	1	0	7
25	4	11	73	7	2	2	8	4	3

(1月~12月)

●課別職員数

(H25.4)

課室名	職	員	数
林 至 右	総数	男	女
総 務 課	10	9	1
企画財政課	8	7	1
税務住民課	11	6	5
産業観光課	8	8	0
建設環境課	16	14	2
保健福祉課	16	6	10
会 計 室	3	1	2
議会事務局	2	1	1
教 育 課	4	2	2
公 民 館	4	3	1
保 育 所	14	0	14
調理場	1	0	1
合 計	97	57	40

●歴代議長(町村合併後)

(H25.12.1)

●歴代町長

(H25.12.25)

氏 名	就任年月日	退任年月日
吉 野 要	昭和30.3.31	昭和32.9.30
浅 野 航 海	昭和32.10.1	昭和34.9.30
新井清治	昭和34.10.1	昭和40.9.30
関 龍雄	昭和40.10.1	昭和44.9.30
中村喜一	昭和44.10.11	昭和48.10.31
江沢冨士松	昭和48.12.4	昭和50.9.30
岩崎栄一郎	昭和50.10.1	昭和54.9.30
石 田 行 雄	昭和54.10.1	昭和56.9.30
井 上 泰 爾	昭和56.10.1	昭和58.9.30
井 上 浩 一	昭和58.10.1	昭和60.3.12
白鳥時雄	昭和60.4.16	昭和62.9.30
関 野 正 治	昭和62.10.1	平成元年9.21
佐藤高二	平成元年9.21	平成3.9.30
君塚秀雄	平成3.10.8	平成5.9.21
岡村甲純	平成5.9.21	平成7.9.30
鶴岡清二	平成7.10.9	平成9.9.18
貝 塚 貞 利	平成9.9.18	平成10.9.17
君塚亮一	平成10.9.17	平成11.9.30
貝塚嘉軼	平成11.10.7	平成13.9.14
伊藤博明	平成13.9.14	平成15.9.30
伊藤博明	平成15.10.2	平成19.9.30
新 井 明	平成19.10.5	平成23.9.30
中村俊六郎	平成23.10.5	在任中

●投票区別有権者数

(H25.12.2)

区分	地 区	計	男	女
第 1 投票区	久保・新町・六軒町	2,452	1,149	1,303
第2 投票区	須賀・浜・高山田	1,559	767	792
第3 投票区	岩和田	928	429	499
第 4 投票区	上布施	516	248	268
第5 投票区	実谷・七本	353	165	188
第6 投票区	御宿台	1,257	573	684
	総 数	7,065	3,331	3,734

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
町長職務 (執行者)	大地重直	昭和30.3.31	昭和30.5.15
1	井上文吉	昭和30.5.16	昭和42.5.14
2	岩井敏夫	昭和42.5.15	昭和54.5.14
3	高梨秀治	昭和54.5.15	昭和62.5.14
4	滝口栄蔵	昭和62.5.15	平成6.1.25
5	伊藤治昌	平成6.3.13	平成10.3.12
6	加 藤 長	平成10.3.13	平成12.11.24
7	井上七郎	平成12.12.24	平成20.12.23
8	石田義廣	平成20.12.24	在任中

●歴代助役

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
1	相原誠三郎	昭和30.10.18	昭和38.10.17
2	岩井敏夫	昭和39. 1.10	昭和42. 4.17
3	佐藤清司	昭和42.12.20	昭和45.10.31
4	浅野興典	昭和47. 4. 1	昭和54. 5.14
5	池田覚道	昭和55. 3. 1	昭和62. 5.14
6	大谷良司	昭和62. 6.15	平成 7. 6.14
7	加 藤 長	平成 7. 6.15	平成 9.11.15
8	関 邦昭	平成10. 7. 1	平成12. 3.15
9	吉野和美	平成13. 7. 1	平成19. 3.31

H19.4.1地方自治法改正により助役制度が副町長制度となりました。(現在、副町長不在)

●歴代収入役

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
1	相原誠三郎	昭和29. 2.13	昭和30.10.17
2	佐藤清司	昭和30.10.18	昭和42.12.19
3	浅野興典	昭和42.12.20	昭和47. 3.31
4	和田正美	昭和47. 4. 1	昭和54. 5.14
5	岩瀬 剛	昭和54. 7. 1	昭和62. 5.14
6	吉田庸二	昭和62. 6.15	平成11. 6.14
7	五十嵐義昭	平成11. 6.15	平成17.12.31

H18.4.1条例制定により置かないこととなりました。 H19.4.1地方自治法改正により収入役制度が廃止となりました。

●最近の選挙における投票状況

(H25.12.1)

	選 挙 名			執行年月日	当	日有権者	·数	;	投票者数		投票率(%))			
		迭	手	乜			郑1] 平万口	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
県	議	숲	議	員	選	挙	H23.4.10	勝浦市・夷隅郡選挙区無投票								
町	議	숲	議	員	選	挙	H23.9.18	7,026	3,316	3,710	5,301	2,479	2,822	75.45	74.76	76.06
衆議院議員選挙(小選挙区) I			H24.12.16	7,039	3,308	3,731	5,586	2,641	2,945	79.36	79.84	78.93				
町		長		選		挙	H24.12.16	6,993	3,288	3,705	5,557	2,623	2,934	79.47	79.77	79.19
町点	豊 業	委	員 会	委	員 選	養	H25.3.3	419	231	188	308	178	130	73.51	77.06	69.15
県	矢	:0	事	ì	異	挙	H25.3.17	6,969	3,277	3,692	3,199	1,508	1,691	45.90	46.02	45.80
参訓	義院	議員	選挙	. (県	選出	ዘ)	H25.7.21	7,043	3,311	3,732	3,864	1,892	1,972	54.86	57.14	52.84

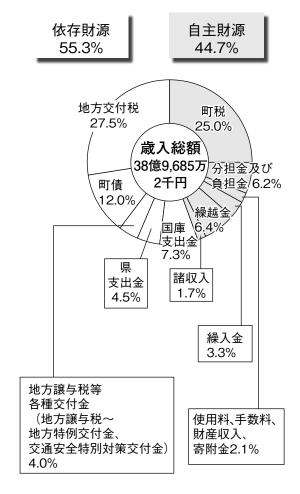
●平成 24年度一般会計歳入決算

歳入

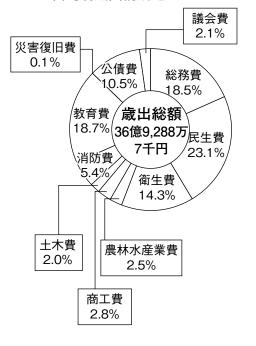
(単位:千円 %)

	(単位・十円 %)							
-	年	度	平成 24年度	平成 23年度	比	較		
科			決算額①	決算額②	1-2	3 /2 × 100		
1	町	税	978,988	964,713	14,275	1.5		
2	地方譲与	税	42,247	44,687	▲ 2,440	▲ 5.5		
3	利子割交付:	金	1,441	1,695	▲ 254	▲ 15.0		
4	配当割交付:	金	1,621	1,990	▲ 369	▲ 18.5		
5		所金	473	405	68	16.8		
6		費金	61,208	62,147	▲ 939	▲ 1.5		
7		場金	20,961	20,872	89	0.4		
8		得金	11,880	13,024	▲ 1,144	▲ 8.8		
9		例金	1,389	13,968	▲ 12,579	▲ 90.1		
10	地方交付	税	1,075,519	1,120,656	▲ 45,137	▲ 4.0		
内	普	通	970,615	1,010,789	▲ 40,174	▲ 4.0		
訳	特	別	104,904	109,867	▲ 4,963	▲ 4.5		
11	交通安全特别 対策交付:	別金	1,155	1,141	14	1.2		
12		及 金	242,500	268,680	▲ 26,180	▲ 9.7		
13		及料	60,759	53,545	7,214	13.5		
14	国庫支出:	金	287,196	164,894	122,302	74.2		
15	県 支 出	金	178,129	222,557	▲ 44,428	▲ 20.0		
16	財産収.	入	15,438	17,190	▲ 1,752	▲ 10.2		
17	寄附	金	90	1,391	▲ 1,301	▲ 93.5		
18	繰 入 :	金	128,128	46,992	81,136	172.7		
19	繰 越 :	金	251,996	226,360	25,636	11.3		
20	諸 収 .	入	66,234	122,244	▲ 56,010	▲ 45.8		
21	町	債	469,500	185,700	283,800	152.8		
	合 計		3,896,852	3,554,851	342,001	9.6		

●平成 24年度一般会計 歳入財源別構成比



●平成 24年度一般会計 目的別歳出構成比



●平成 24年度一般会計歳出決算

歳出

(単位:千円 %)

			F度	平成 24	年度	平成 23年度	比	較
科	国 ————————————————————————————————————		+12	決算額①	構成比	決算額②	1-2	③ /② × 100
1	議	会	費	77,367	2.1	85,996	▲ 8,629	▲ 10.0
2	総	務	費	685,577	18.5	774,574	▲ 88,997	▲ 11.5
3	民	生	費	855,127	23.1	743,867	111,260	15.0
4	衛	生	費	527,973	14.3	499,591	28,382	5.7
5	農林	水産業	*費	91,142	2.5	79,124	12,018	15.2
6	商	エ	費	103,924	2.8	135,313	▲ 31,389	▲ 23.2
7	土	木	費	73,592	2.0	80,946	▲ 7,354	▲ 9.1
8	消	防	費	197,814	5.4	222,517	▲ 24,703	▲ 11.1
9	教	育	費	690,863	18.7	190,172	500,691	263.3
10	災害	得復 旧	費	914	0.1	55,759	▲ 54,845	▲ 98.4
11	公	債	費	388,594	10.5	434,996	▲ 46,402	▲ 10.7
	合	計		3,692,887	100.0	3,302,855	390,032	11.8

●財政の変遷

(単位:千円)

(半位・1 ロ/									
年度	当 初 予算額	決算 歳入	算額 歳出	地 方 交付税額	地方債 現在高				
H14	3,446,000	3,582,221	3,505,947	892,550	3,508,701				
15	2,930,000	3,117,619	2,987,087	778,340	3,677,163				
16	3,353,000	3,605,602	3,400,397	749,431	3,962,669				
17	3,491,000	3,907,242	3,728,482	729,828	4,364,131				
18	2,731,000	3,001,895	2,808,157	798,676	4,240,511				
19	2,748,000	3,071,376	2,923,047	802,373	4,098,612				
20	2,770,000	3,056,516	2,871,169	865,119	3,922,612				
21	2,664,000	3,373,155	3,152,291	947,476	3,694,063				
22	2,930,000	3,496,477	3,269,253	1,063,386	3,403,340				
23	3,140,000	3,554,851	3,302,855	1,120,656	3,226,470				
24	3,490,000	3,896,852	3,692,887	1,075,519	3,373,815				

●性質別歳出

(単位:千円 %)

			(中区・	十円 %)
年度	平成 24年度	平成 23年度	比	較
科目	決算額①	決算額②	1-2	3/2 ×100
人 件 費	740,448	750,091	▲ 9,643	▲ 1.3
物件費	688,849	698,782	▲ 9,933	▲ 1.4
維持補修費	7,373	14,428	▲ 7,055	▲ 48.9
扶 助 費	240,499	224,553	15,946	7.1
補助費等	411,134	428,860	▲ 17,726	▲ 4.1
普通建設事業費	722,870	279,836	443,034	158.3
災害復旧事 業費	914	55,759	▲ 54,845	▲ 98.4
公 債 費	388,594	434,996	▲ 46,402	▲ 10.7
繰 出 金	318,359	305,542	12,817	4.2
その他 (積立金等)	173,847	110,008	63,839	58.0
슴 計	3,692,887	3,302,855	390,032	11.8

●平成 24年度 特別会計決算

(単位:千円)

会 計		予 算 額	決 算 額	
国民健康保険	歳 入	1 252 794	1,307,449	
特別会計	歳出	1,252,784	1,220,150	
介護保険	歳入	944765	846,939	
特別会計	歳出	844,765	828,298	
後期高齢者	歳入	115 202	114,109	
医療特別会計	歳出	115,382	114,023	

●平成 24年度 企業会計決算

(単位:千円)

区分		予算額	決算額
水道事業収益		275,044	272,777
営 業 収	益	236,014	233,767
営業外収	又 益	39,030	39,010

	X	分	}		予算額	決算額
기	k道	事業費	用		282,890	274,924
	営	業	費	用	276,357	269,349
	営	業夕	ト 費	用	6,233	5,575
	特	別	損	失	100	0
	予	ħ	崩	費	200	0

●町有財産の状況

(H24 決算)

土 地	1,392,447 m²	財政調整基金	354,882千円	コミュニティ整備資金貸付基金	10,000千円
建物	42,266 m²	減債基金	21,048千円	学校施設建設基金	133,235千円
出資による権利	1,138,044千円	地域福祉基金	10,845千円	活力あるふるさとづくり基金	952千円
土地開 預 金 発基金	25,000千円	開発基金	1,725千円	児童福祉施設建設等基金	100,000千円
東日本大震災復興基金	5,600千円	中山間ふるさと保全対策基金	3,275千円	公共施設維持管理基金	130,025千円



- ◎昭和40年度~平成7年度は、千葉県農業基本調査
- ◎平成11年度、16年度、21年度は、農林業センサス (各年2月1日現在)

●農家数の動き

(F)

年	度	総	数	専	業	第 1種兼業	第 2種兼業
	/2	1140	~~	~,	/	N) LIEWY	NI CIENN
S4	40	(581		49	278	354
4	45	(808		34	198	376
į	50	۷	170		24	144	302
į	55	4	130		23	120	287
(60		387		31	25	331
ŀ	12	ć	340		31	16	293
	7	;	322		32	10	280
	11	4	256		31	12	213
	16		160		9	53	98
- 2	21	-	125		21	15	89

●経営規模別農家数の動き

(

年度	総数	30未満 (a)	30~ 50 (a)	50~100 (a)	100~ 150 (a)	150以上 (a)	例外 規定			
S40	681	192	106	199	154	23	7			
45	608	155	104	187	132	30	0			
50	470	96	83	206	71	11	3			
55	430	86	81	185	59	13	3			
60	387	65	66	183	50	21	2			
H2	340	39	69	146	56	28	2			
7	322	46	57	133	58	26	2			
11	256	60	53	99	26	16	2			
16	160	2	38	85	16	14	0			
21	125	2	28	58	15	22	0			

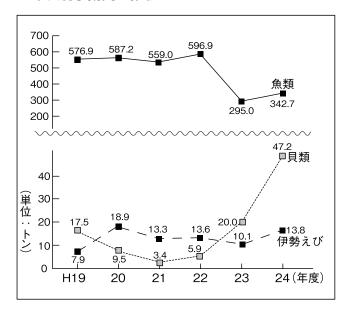


●農家の推移

年度	総農家	経	営耕地面積(ha)	水稲(a)
十 	世帯員数	田	畑	その他	八作(a)
\$40	3,459	355	91	3	32,835
45	2,882	341	70	7	28,108
50	2,204	247	46	7	22,549
55	1,941	234	51	5	19,930
60	1,667	226	51	6	19,357
H2	1,413	217	60	4	16,727
7	1,310	208	37	4	15,506
11	1,021	139	22	3	12,246
16	806	121	16	2	11,969
21	469	120	15	1	10,193

力化產等

●年次別水揚高の推移



●登録漁船隻数

(各年 12 月 31 日現在)

年 度登録漁船隻数	H21	H22	H23	H24
御宿	36	36	35	28
岩 和 田	104	93	119	78

●漁業組合の状況

組合名	御宿岩和田漁業 協同組合(岩和田)	御宿支所
正組合員	84	26
準組合員	272	54
合 計	356	80

●主な魚種別水揚高(港勢調査)

(各年 12 月 31 日現在) (単位:トン)

魚	種類	别	御宿	岩和田	御宿岩和田		Ħ
			H21	H21	H22	H23	H24
た		ι,	0.0	0.7	1.0	1.4	1,2
ひ	5	め	0.0	16.5	17.7	11.7	24.0
،گڌ		1)	0.0	38.0	22.3	2.9	12.2
١١		か	2.2	171.9	216.6	51.7	68.0
か	つ	お	14.8	209.0	212.0	59.4	80.6
ま	ぐ	ろ	1.0	33.0	3.6	30.9	6.0
あ	わ	び	0.5	1.5	4.8	2.8	2.2
さ	ざ	え	0.6	0.8	1.1	17.2	45.0
す	ず	き	0.0	3.1	5.3	1.9	1.3
雑		魚	29.6	39.2	118.4	135.1	142.4
え		び	0.5	12.8	13.6	10.1	13.8
合		計	49.2	526.5	616.4	325.1	403.7

御究等

(産業観光課調べ)

●観光施設等入込数

区分	年度	21年	22年	23年	24年
観光客数	夏期	424,262	380,313	207,201	180,610
(人)	年 間	597,067	562,692	478,936	326,156
ホテル・旅食	馆(軒)	11	11	11	11
ペ ン ション 民宿・保養所(軒)		71	61	49	49
海の家(軒)	13	13	13	13
駐車台数	(台)	21,232	21,176	8,066	9,021
町の観光投入額	頂(千円)	108,655	163,530	140,843	106,796

●平成 24年度各種イベント入込状況

行 事 名	入込数 (人)
おんじゅく花火大会(8月)	20,000
ビ – チ バ レ – ボ – ル ム – ン カップイ ン 御 宿 (8月)	2,000
おんじゅく伊勢えび祭り (9月~10月)	30,000
おんじゅくイルミネーション (12月)	1,000
春一番! おんじゅく海の花祭り (2月)	2,000

●月の沙漠記念館入館等の状況(決算)

年 度	入館者数 (人)	入館収入 (千円)	売店収入等 (千円)
H12	27,885	9,525	4,863
13	31,109	10,623	4,366
14	27,884	9,283	3,990
15	30,743	10,316	3,578
16	25,393	8,356	2,677
17	18,685	6,307	1,657
18	17,637	5,876	1,765
19	15,250	5,060	1,819
20	11,624	3,807	1,930
21	16,247	4,813	2,113
22	12,179	3,733	1,740
23	9,726	2,936	1,317
24	16,367	2,494	1,296

●町営プール入場等の状況

年度	入場者数 (人)	入場収入 (千円)	売店収入等 (千円)
Н6	32,179	26,062	7,345
13	20,766	13,167	3,553
14	21,075	13,302	3,676
15	12,963	8,020	2,103
16	18,268	11,361	2,695
17	17,594	10,882	2,662
18	14,730	8,973	2,318
19	16,513	10,124	2,619
20	14,686	8,929	2,116
21	13,992	8,392	2,008
22	17,016	9,863	2,275
23	13,642	8,036	1,980
24	14,456	8,796	2,016
25	16,079	9,546	2,153

●平成 24年 月の沙漠記念館企画展

企 画 展 内 容	展 示 期 間	入館者数(人)
つるし飾りと上総角凧展	平成24年1月26日~平成24年5月22日	4,036
國房魁遺作写真展	平成24年5月24日~平成24年7月24日	1,641
白井正二・藤岡邦子・菅根成之 三人展	平成24年7月26日~平成24年10月8日	2,265
加藤まさを企画展	平成24年10月11日~平成25年2月11日	3,109
つるし飾り展	平成25年2月14日~平成25年4月29日	8,956
h 計		20,007

●工業(製造者) の状況

(各年 12 月 31 日現在H23のみ2月1日現在)

年	事業所(戸)	従業者数 (人)	年間製造品 出荷額等 (百万円)
H14	8	69	516
15	11	100	796
16	10	105	786
17	11	106	859
18	10	93	820
19	8	91	838
20	11	139	1,411
21	9	119	962
22	8	123	1,012
23	11	132	1,125

工業統計調査より ※H23は経済センサスより

●商業の状況(商業統計調査)

(H19.6.1)

中分)類		項目	商店数 (店)	従業者数 (人)	年間商品 販売額 (百万円)	売場面積 (㎡)
卸	売	業	計	11	63	2,068	_
小	売	業	計	96	442	5,986	6,918
		衣服、 品 小 売		6	14	79	764
	飲食	科品小	売 業	43	253	3,889	2,913
	自動耳小	車、自 [‡] 売	転 車 業	5	14	84	142
	家具、3 小	建具、じゅ 売	う器 業	9	31	234	761
	そのイ	也の小き	売 業	33	130	1,700	2,338
	合	計		107	505	8,054	6,918

※経済産業省経済産業政策局調査統計 平成 19年商業統計表より

理 殿

●道路の状況

(道路台帳 H25.4.1)

					単位	町道
路	i	線		数	本	1,458
実	:	延		長	m	255,306
内訳	改	良源	筝 延	長	m	80,884
内引	未	改良	是 延	長	m	174,422
	2.5	13r	n以.	上	m	38
幅	改良済	5.5	m以	上	m	24,153
員	済	5.5	m未	:満	m	56,693
別	*	5.5	m以	上	m	-
内	未 改 良	3.5	3.5m以上			7
訳	艮	3.5m未満			m	174,415
	うち	自動車交通不能			m	124,810
_,	未	舗	装	道	m	152,778
路 面 別		セ	メン	卜系	m	4,443
別	舗装道	アス	ファ	高級	m	_
内訳	道	ルト	系	簡易	m	95,085
μ (計		m	102,528
種類別	橋	梁	延	長	m	543
内訳	隧	道	延	長	m	413

●建築届出件数の推移

年 区分	専用住宅	旅館	共同 住宅	併用 住宅	工場	その他	計
H18	29	0	0	0	0	5	34
19	23	0	0	1	0	4	28
20	16	1	0	0	0	5	22
21	50	0	0	3	0	7	60
22	5	0	0	0	0	1	6
23	2	0	0	0	1	2	5
24	0	0	0	0	0	4	4

●町道の内訳

(道路台帳 H25.4.1)

実延長	255,306m
舗装済延長 102,528m	未舗装 152,778m

●林道の状況

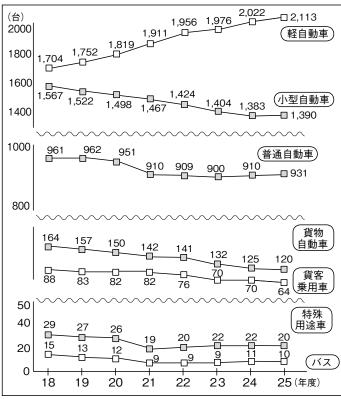
(林道台帳 H25.4.1)

延長 12,378m

交通。 防災

●自動車保有台数の推移

(H25.4.1)



(千葉県自動車税事務所調べ他)

●消防の施設状況

(H25.4.1)

消防ポンプ車	6台	防火水槽	94か所
水槽付ポンプ車	1台	消 火 档	全 177台
軽小型ポンプ積載車	1台	小型ポンス	プ 4台
指揮広報車	1台	小型ポンプ積載照明頭	1台
防災広報車	1台		

●消防団

(H25.4.1)

団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
1	3	12	5	9	30	136	196

●災発生件数

(H25.12.1)

		火災	火災面積(㎡)			
年次	総数	建物	山林 原野	その他	建物	山林 その他
H20	5	2	0	3	1.6	0
21	1	1	0	0	89.0	0
22	3	1	0	2	236	0
23	2	1	1	0	26	150
24	1	0	0	1	0	5,000

●交通事故発生件数の推移

(交通白書)(各年.12.31現在)

			1112:0196127
区分 年	発生件数	死者数	負傷者数
H19	30	0	40
20	29	1	35
21	20	1	30
22	19	0	27
23	23	0	30
24	20	0	25

●災害時の避難場所

	名 称	所在地
1	御宿中学校	新町68-2
2	旧岩和田小学校	岩和田1084
3	布施小学校	上布施909
4	旧御宿高校	久保1528
5	町営野球場	久保1135-1
6	御宿児童館	新町419-6
7	実谷区民館	実谷579-1
	一時避難場所	
8	サンドスキー場	岩和田1354
9	浅間山	新町56
10	御宿台多目的広場	御宿台29-1
11	ビューパレー御宿	須賀488-1
12	ビクトリマンション	久保1878
13	シーサイドパレス御宿	新町816-23
14	ローレルプラザ御宿第1	浜467-3
15	センチュリー御宿シーサイド2号館	浜208-2
16	シーサイドサーフ御宿	新町854
17	エスカール御宿	須賀496-1
	福祉避難所	
18	御宿町地域福祉センター	久保1135-1



●消火栓の設置個数

(H25.12.1)

	地区名		設置個数	ţ:	也区名	Ż	設置個数
須		賀	16	六	軒	町	9
	浜		8	岩	和	田	15
高	Щ	田	6	実名	\$• 1	二本	12
久		保	13	上	布	施	23
新	_	町	14	御	宿	台	61
	合	Ē	t				177

●自主防災組織の状況

設 置 年 月 日	地区名
平成 9年 8月 1日	岩和田
平成 10年 8月 1日	新町
平成 11年 8月 1日	浜
平成 12年 8月 1日	須 賀
平成 13年 8月 1日	六軒町
平成 14年 8月 1日	久 保
平成 15年 8月 1日	上布施
平成 16年 8月 1日	実 谷
平成 17年 8月 1日	高山田
平成 18年 8月 1日	御宿台



(保健福祉課調べ H25.10)

●胸部検診受診状況

年度	対象者数	受診者数	受診率
H19	1,420	1,259	88.7%
20	1,399	1,231	88.0%
21	3,905	1,177	30.1%
22	3,810	1,134	29.8%
23	3,800	1,072	28.2%
24	4,354	1,075	24.6%
25	4,922	1,007	20.5%

●胃がん検診受診状況

年度	対象者数	受診者数	受診率
H19	843	637	75.6%
20	817	654	80.0%
21	4,140	575	13.9%
22	4,190	537	12.8%
23	3,640	508	13.9%
24	4,484	535	11.9%
25	4,526	508	11.2%

●子宮がん検診受診状況

年度	対象者数	受診者数	受診率
H19	487	317	65.1%
20	470	329	70.0%
21	2,892	355	12.2%
22	2,844	365	12.8%
23	2,843	368	12.9%
24	3,064	345	11.2%
25	3,044	340	11.2%

●乳がん検診受診状況

年度	対象者数	受診者数	受診率
H19	660	542	82.1%
20	686	562	81.9%
21	2,475	598	24.1%
22	2,657	626	23.6%
23	2,640	664	25.1%
24	2,906	621	21.4%
25	2,876	615	21.3%

●大腸がん検診受診状況

年度	対象者数	受診者数	受診率
H19	1,220	1,068	87.5%
20	1,204	1,049	87.1%
21	4,489	1,019	22.7%
22	4,115	1,008	24.5%
23	4,102	1,061	25.8%
24	4,891	1,092	22.3%
25	4,414	1,073	24.3%

●基本健康診査受診状況

年度	対象者数	受診者数	受診率
H16	1,725	1,080	62.6%
17	1,792	1,122	62.6%
18	1,259	812	64.5%
19	943	784	83.1%

[※]平成20年度から従来の基本健康診診査に代わり、医療保険者が特定健康診査を実施することになりました。
※平成21年度から各検診における対象者数の計算方法が変更とな

[※]平成21年度から各検診における対象者数の計算方法が変更となりました。

经验。 医腺。 假題

●国民年金受給者の状況

(H24 決算)

年度	平成	, 22年度	平成 23年度		平成	24年度
十	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
老齢基礎年金	2,565	1,700,924	2,689	1,783,198	2,862	1,908,191
障害基礎年金	97	85,437	104	91,719	108	94,586
遺族基礎年金	22	18,924	28	21,593	25	18,715
寡 婦 年 金	5	2,258	6	2,793	5	2,291
老齢年金	310	141,623	270	123,514	227	105,294
通算老齢年金	106	24,582	101	23,210	87	20,354
旧国民年金障 害保険	13	11,881	13	11,833	10	8,848
合 計	3,118	1,985,629	3,211	2,057,860	3,324	2,158,279
福祉年金	2	811	2	644	1	344

●介護申請等の状況

(保健福祉課調べ)

	申請	認定	介護サービス利用者				
年度	総数	総数	居宅 サービス	施設 サービス	給付金 (千円)		
H19	542	526	214	87	531,561		
20	600	585	236	82	545,982		
21	567	568	281	91	631,502		
22	522	496	273	98	686,146		
23	599	559	271	104	707,104		
24	629	615	308	121	780,175		

●特定健康診査受診状況(御宿町国民健康保険)

年度	対象者数	受診者数	受診率
H20	2,500	937	37.5%
21	2,511	889	35.4%
22	2,524	825	32.7%
23	2,540	770	30.3%
24	2,561	838	32.7%
25	2,577	841	32.6%

●後期高齢者医療保険加入者及び給付状況(各年度決算)

年度	加入者数	医療費(町支弁額) (千円)
H20	1,606	74,210
21	1,674	89,890
22	1,717	94,474
23	1,736	99,067
24	1,760	97,505

●国民健康保険加入者及び給付状況

(各年度決算)

年度	世帯数		加入者	皆数(人)		医療費(町支弁額)(千円)			
十戊	世帝致	一般	退職	国保老人	合計	一般	退職	国保老人	合計
H16	2,433	2,721	533	1,482	4,736	468,746	117,568	895,021	1,481,335
17	2,471	2,711	590	1,484	4,785	464,672	170,530	949,498	1,584,700
18	2,492	2,623	700	1,449	4,772	420,852	197,453	824,909	1,443,214
19	2,505	2,528	829	1,386	4,743	426,953	211,990	936,152	1,575,095
20	1,837	3,083	225	0	3,308	553,700	66,814	0	620,514
21	1,833	3,141	155	0	3,296	639,638	42,190	0	681,868
22	1,823	3,079	184	0	3,263	645,260	39,462	0	684,722
23	1,827	3,053	193	0	3,246	725,914	50,697	0	776,611
24	1,853	3,072	204	0	3,276	764,277	56,513	0	820,790



環境

●ごみ収集の状況(廃棄物実態調査)

年度	可燃物	不燃物	計(トン)
H9	3,812	618	4,430
10	4,058	568	4,626
11	3,824	502	4,326
12	3,979	571	4,550
13	3,989	722	4,711
14	4,141	598	4,739
15	3,943	658	4,601
16	3,560	643	4,203
17	3,575	771	4,346
18	3,512	745	4,257
19	3,502	724	4,226
20	3,301	690	3,991
21	3,437	686	4,123
22	3,410	654	4,064
23	3,218	637	3,855
24	2,963	632	3,595

● し尿処理の状況(廃棄物実態調査)

年 度		H18	19	20	21	22	23	24
処理計画人口	(人)	8,145	8,079	8,027	8,043	8,045	8,012	8,017
①非水洗化人口	(人)	1,942	1,712	1,662	1,558	1,463	1,396	1,327
・計画収集人口	(人)	1,912	1,683	1,633	1,532	1,440	1,375	1,307
・自家処理人口	(人)	30	29	29	26	23	21	20
②水洗化人口(浄化槽)	(人)	6,203	6,367	6,365	6,485	6,582	6,616	6,690
し尿収集の状況	(k l)	4,244	3,567	3,482	3,948	3,719	3,691	3,719
①し 尿	(k l)	1,471	1,203	1,315	1,450	1,360	1,242	1,287
②浄化槽汚泥	(k l)	2,773	2,364	2,167	2,498	2,359	2,449	2,432
収集職員数	(人)	3	3	3	3	3	3	3
バキューム車	(人)	1	1	1	1	1	1	1

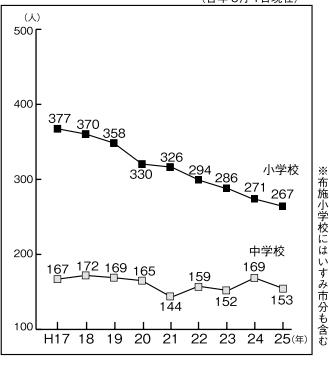
加強

●水道事業変遷

年度	年度末 給水人口 (人)	年度末 給水戸数 (戸)	年 間 取水量 (㎡)	年 間 受水量 (m³)	年 間 給水量 (㎡)	年 間 使用量 (㎡)	1ヶ月平均 給水量 (㎡)	1ヶ月平均 使用水量 (㎡)	給水原価 (円・銭)	資本費 (円・銭)	施 利用率 (%)
H14	7,504	3,317	761,067	365,400	925,720	868,858	77,143	72,405	330.27	215.30	34.11
15	7,620	3,386	814,370	366,376	942,386	875,951	78,532	72,996	316.07	205.60	34.64
16	7,690	3,443	858,301	365,418	980,334	906,759	81,695	75,563	305.21	194.40	36.13
17	7,732	3,478	838,132	365,410	957,791	919,317	79,816	76,610	313.62	203.97	35.30
18	7,784	3,522	828,374	365,407	932,438	908,225	77,703	75,685	287.15	177.44	36.01
19	7,837	3,575	943,733	305,058	995,719	907,427	82,977	75,619	284.77	175.60	38.35
20	7,891	3,629	929,204	296,813	970,495	885,025	80,875	73,752	294.50	173.40	37.48
21	7,898	3,676	876,441	278,062	943,371	888,952	78,614	74,079	281.60	164.89	36.43
22	7,878	3,709	821,270	314,927	931,822	912,788	77,652	76,066	276.95	158.63	35.98
23	7,849	3,716	802,435	344,920	961,159	905,822	80,097	75,485	294.96	157.45	37.01
24	7,757	3,727	778,067	340,519	915,578	891,752	76,298	74,313	297.73	156.86	33.04

●児童・生徒数の推移 学校基本調査

(各年5月1日現在)



●御宿町教育委員会 歴代教育長 (H25.12.1)

歴代	氏 名	就任年月日	退任年月日
1	片岡 要	昭和 28.4.1	昭和 43.9.30
2	佐藤 喜郎	昭和 43.10.1	昭和 47.4.30
3	統合教育委員会	昭和 47.5.1~	平成 3.3.31
4	大鐘 孝	平成 3.4.1	平成 8.3.31
5	遠山農夫雄	平成 8.4.1	平成 11.3.31
6	米本 弘夫	平成 11.4.1	平成 15.3.31
7	岩村 實	平成 15.4.1	平成 19.3.31
8	佐藤 和己	平成 19.4.1	平成 23.3.31
9	浅野 祥雄	平成 23.4.1	在任中

●社会教育施設利用状況(年間利用者数)

(教育委員会調べ)

左	小尺 檢	25 x 1 公立	海洋セ	ンター	パークゴルフ
年度	公民館	資料館	体育館	プール	ガーデン
H16	25,387	8,917	26,065	4,890	10,918
17	25,214	9,118	20,897	3,974	8,765
18	23,734	10,373	16,148	2,834	7,535
19	30,461	6,324	13,251	1,733	7,157
20	25,010	7,026	15,475	2,135	6,836
21	25,603	8,082	16,069	1,688	7,548
22	25,534	7,744	14,224	2,162	7,732
23	25,387	6,533	14,288	2,466	7,699
24	24,896	6,624	16,504	2,766	6,739

●文化施設

名 称	施 設・ 内 容
公民館	調理実習室、和室、茶室、大ホール、 大・中会議室、クラブ集会室、絵画工作室、 視聴覚室、図書室(蔵書 8,524冊)
歴史民俗 資料館	「御宿と人」「御宿とくらし」「御宿と教え」 のコーナー、五倫文庫、70か国の教科書 32,500冊 ドイツ ボウボウアタマ博物館資料
月の沙漠 記念館	1F 企画展示室、ミュージアムショップ 2F 加藤まさを展示室 野外ステージ

●スポーツ施設等

名 称	施設・内容	
町 営 運 動 場	野球場、テニスコート3面	
海洋センター	体育館、トレーニングルーム	
海洋センタープール	25mプール、幼児用	
御宿台公園テニス場	テニスコート6面	
町営ウォーターパーク	流れるプール、多目的プール、 ウォータースライダー3種類など	
御宿パークゴルフガーデン	パークゴルフ場18ホール	
旧岩和田小学校体育館	体育館	

区分	名 称	所在地	伝 承 地	指定年月日
国指定	ミヤコタナゴ	御宿町	御宿町	S49.6.25
県指定	ドン・ロドリゴ上陸地	岩和田	"	S41.12.2
"	紙本著色大田喜藩陣列之図	久 保	"	H7.3.14
町指定	ドン・ロドリゴ関係遺品・サンフランシスコ号檣	久 保	個人	S49.3.27
"	木造阿弥陀如来坐像	浜	妙音寺	"
"	亀甲地双鶴鏡	"	"	"
"	白銅鏡	"	"	"
"	木造大日如来坐像	上布施	真常寺	"
"	木造如意輪観音坐像	"	"	"
"	十王堂縁起	六軒町	十王堂	"
"	最明寺夫婦銀杏	須 賀	最明寺	S53.3.27
"	旧役場大蘇鉄	"	御宿町	"
"	双盤	"	最明寺	S54.6.27
"	小幡神楽囃子	上布施	小幡神楽囃子保存会	S57.6.29
"	高山田神楽囃子	高山田	高山田神楽囃子保存会	S57.9.28
"	千人塚供養塔	新町	妙昌寺	S59.1.11
"	閻魔胎内像・十王像	六軒町	十王堂	"
"	伊勢参宮絵馬	上布施	八幡神社	"
"	真常寺石塔	11	真常寺	"
"	木造阿弥陀如来及び両脇侍立像	六軒町	十王堂	S60.2.12
"	木造阿弥陀如来坐像	浜	観音寺	"
"	木造傳祐上人坐像	須 賀	最明寺	"
"	旧布施村絵図	久 保	御宿町	S62.2.19
"	千箇寺参御首題帳	上布施	個人	"
"	孝女竹永志保の碑	11	上布施区新宿	S62.10.27
"	月夜見神社の宝塔	久 保	三夜様	H4.1.30
"	貝海女具一式	"	御宿町	H5.2.25
"	ハワイ出稼ぎ渡航関係書類	上布施	個人	"
"	実谷区八坂神社旧神輿の胴廻りの飾り彫刻	実 谷	八坂神社	H7.5.25
"	久保行屋跡の宝塔	久 保	久保区	"
"	薬師堂の磨崖佛	岩和田	宝蔵寺	Н8.2.26
"	堂坂薬師の磨崖佛	浜	最明寺	Н9.1.27
"	堂坂薬師の手洗い鉢	11	"	"
"	最明寺向拝の獅子頭、象鼻の彫刻	須 賀	"	"
"	御宿の海女の群像	久 保	個人	H16.10.25

5万多多节后司

【姉妹都市】

アカプルコ市 (メキシコ) 昭和 53 年 8 月姉妹都市協定締結

【姉妹都市】

野沢温泉村(長野県) 平成9年2月姉妹都市協定締結

【姉妹都市】

テカマチャルコ市 (メキシコ) 平成 25年 10月姉妹都市協定締結

【姉妹館】

御宿町歴史民俗資料館と ボウボウアタマ博物館 (ドイツ・フランクフルト市) 平成3年11月姉妹館提携締結



在宅介護でお困りの事が御座いましたらご相談ください。 お手伝いさせていただきます。

スタッフも募集しています。

ケアプラン作成・訪問介護 NOAH (ob)

御宿町 岩和田 1056

電話 60-3868



7.994(+1)男3.798 女4.196 世帯数 3.662 (平成25年 11 月30日)

御宿分署の出動状況

■火災発生件数 0 救急件数 43 平成25年11月中 御宿分署 ☎80-0136

交通事故発生状況

■発生件数 16 死者数 0 負傷者数 21 (平成25年1月1日~10月31日現在)

町民バス利用状況

■乗車人数 192人 平成 25年 11 月中

ダムの貯水状況(平成25年12月1日現在)

■貯水量 548,000㎡ 貯水率 94.6%

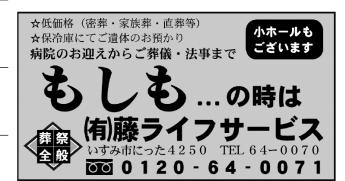
町浄水場の水質検査

■平成25年 11 月19日 採水の検査結果 放射性セシウム 『不検出』

慶弔 (平成25年11月届出)

■出生 4 死亡 8







町では、「広報御宿」に有料広告を掲載しています。 店舗・企業の宣伝や求人募集などに是非ご利用ください。

- ○料 金/1回1枠町内7,500円 町外9,000円 (6ヵ月継続申込者は1回につき500円割引) ○サイズ/このスペースの大きさ
- ○申込・問い合わせ 企画財政課 TEL68-2512



行: 御宿町平成25年12月25日(水) / 発行責任者: 御宿町長石田 義廣/編集: 企画財政課/電話: 0470-68-2511(代) 住 所:〒299-5192 千葉県夷隅郡御宿町須賀1522/ホームページ: http://www.town.onjuku.chiba.jp/